

2012年10月4日
在リオデジャネイロ日本国総領事館

リオ州の治安情報15号
セントロにおける銀行出待ち強盗事件の発生

2日午後1時頃、セントロ地区 Av.Franklin Roosevelt137 番地所在のブラデスコ銀行（当館広報文化センターから約 200m）で女性が現金を下ろした直後、付近の路上で拳銃を所持したオートバイ乗車の2人組に襲撃されました。

賊は女性の顔面に向けて発砲して鞆を強奪し、女性は顎に重傷を負いました。

銀行出待ち強盗はセントロ地区に限らず多発しています。100パーセントの回避はできませんが、リスクを少しでも下げるため、以下を参考にしてください。

ATM操作中は人に近寄らせない。

他人から見られるところで紙幣を数えない。

銀行内で携帯電話で話している人を見かけたら警備員に知らせる。

銀行を出た後、歩道では車道近くを歩かない。

追跡者があるように感じたら商店などに避難して様子を見る。

銀行出待ち強盗はほとんどの場合、複数犯です。銀行内で標的を物色する役と、路上で待機する実行犯がいます。

銀行の職員が多額の現金を下ろした客の情報を実行犯に流した事例もあります。通常の銀行員は、機械の操作方法を説明した後は客と距離を置きます。